

# 常照院の掛け軸2点 高浜市有形文化財に

きょう公開

高浜市は、常照院（青木町）が保管していた地獄と極楽を描いた掛け軸「南海山地蔵寺『六道絵』『浄土図』」を市有形文化財に指定した。有形は二十一点目。十二日から三日間、市かわら美術館で指定後初公開する。

市は愛知教育大の鷹巣純

教授に評価を依頼。収納箱に「二八二六年出来」と記されていることもあり、掛け軸の制作は同時期とみている。当時は人が死ぬと地獄か極楽のどちらかに行く

と信じられており、生前の道徳教育や信仰普及に用いられた。かわら美術館では十一月九～十一日にも掛け軸を展示。十月十三日午後二時から学芸員による解説もある。市担当者は「なかなか市民の目に触れることがなかった作品。たくさんの方々に見に来てほしい」と話す。開催中の企画展「屋根を飾る〜鬼とは何か」（十一月十一日まで）の観覧料二百円（高校生以上）が必要。（福沢和義）



高浜市文化財に指定された南海山地蔵寺の地獄絵図「六道絵」と「浄土図」＝市かわら美術館で